

第 17 週・18 週は連休の影響があるので、本号は 2 週合併号とする。そのため、全数報告疾患については第 17 週、18 週に分けて述べるが、定点報告疾患である 5 類感染症(週報対象のもの)については、第 17 週についてのみコメントする。

全数報告の感染症

< 17 週 >

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 細菌性赤痢 7 例(感染地域:国内 2 例、インド 2 例、タイ 1 例、中国 1 例、疑似症 1 例)、腸チフス 4 例(感染地域:インド 3 例、インド/タイ 1 例)
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 22 例(うち有症者 16 例、HUS 2 例)[多い感染地域:埼玉県(5 例) 年齢群:10 歳未満(12 例)、10 代(5 例)、20 代(3 例)、40 代(1 例)、50 代(1 例) 血清型・毒素型:O111 VT1・VT2(6 例)、O157 VT1・VT2(6 例)、O26 VT1(5 例)、O121 VT2(1 例)、O157 VT2(1 例)、その他/不明(3 例)]
- 4 類感染症: A 型肝炎 10 例(感染地域:北海道 3 例、青森県 2 例、東京都 1 例、神奈川県 1 例、三重県 1 例、国内(都道府県不明)1 例、ネパール 1 例)、エキノコックス症 1 例(多包条虫、感染地域:北海道)、オウム病 1 例(感染源:不明)、つつが虫病 4 例(感染地域:福島県 1 例、長野県 1 例、岡山県 1 例、国内(都道府県不明)1 例)、マラリア 1 例(熱帯熱、感染地域:インドネシア)、レジオネラ症 5 例(いずれも肺炎型)[年齢群:60 代 2 例、70 代 1 例、80 代 2 例 感染地域:神奈川県 1 例、愛知県 1 例、兵庫県 1 例、宮崎県 1 例、国内(都道府県不明)1 例]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 9 例(腸管アメーバ症 8 例、腸管外アメーバ症 1 例)[感染地域:国内 8 例、インドネシア 1 例 感染経路:経口 1 例、性的接触 3 例(すべて異性間)、不明 5 例]、急性脳炎 3 例(A 型インフルエンザウイルス 1 例(8 歳)、病原体不明 2 例(3 歳、30 代))、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例(孤発性プリオン病(古典型))、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3 例、(血清型:A 群 2 例、不明 1 例、30 代 1 例、40 代 1 例、50 代 1 例、うち 1 例死亡)、後天性免疫不全症候群 7 例(無症候 5 例、AIDS 2 例)[感染経路:すべて性的接触(異性間 3 例、同性間 4 例) 感染地域:国内 6 例、国内/インド 1 例]、ジアルジア症 1 例(感染地域:韓国)、梅毒 8 例(早期顕症 I 期 5 例、晩期顕症 1 例、無症候 2 例)、破傷風 1 例(90 代)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 4 例(遺伝子型:すべて VanC__菌検出検体:すべて胆汁)

< 18 週 >

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 細菌性赤痢 5 例(感染地域:インド 2 例、インドネシア 2 例、中国 1 例)、腸チフス 2 例(感染地域:インド 1 例、マダガスカル 1 例)、パラチフス 1 例(感染地域:インド/バングラデシュ)
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 23 例(うち有症者 17 例、HUS 1 例)[多い感染地域:埼玉県(5 例) うち 3 例は第 16 ~ 17 週診断の 5 例、東京都から報告の第 16 週診断の 2 例と合わせて、同一保育施設での発生 年齢群:10 歳未満(10 例)、10 代(3 例)、20 代(2 例)、30 代(4 例)、40 代(1 例)、60 代(2 例)、70 歳以上(1 例) 血清型・毒素型:O111 VT1・VT2(6 例)、O26 VT1(4 例)、O157 VT1・VT2(4 例)、O26 VT1・VT2(1 例)、O111 VT1(1 例)、O157 VT1(1 例)、その他/不明(6 例)]
- 4 類感染症: A 型肝炎 2 例(感染地域:東京都 1 例、シンガポール/マレーシア 1 例)、つつが虫病 4 例(感染地域:秋田県 1 例、福島県 1 例、長野県 1 例、熊本県 1 例)、デング熱 1 例(感染地域:マレーシア)、レジオネラ症 2 例(ともに肺炎型)[年齢群:ともに 60 代 感染地域:東京都 1 例、広島県 1 例]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 7 例(腸管アメーバ症 6 例、腸管外アメーバ症 1 例)[感染地域:国内 4 例、中国 2 例、韓国/サイパン 1 例 感染経路:経口 3 例、性的接触 3 例(すべて異性間)、経口/性的接触 1 例(異性間・同性間不明)]、ウイルス性肝炎 3 例(すべて B 型__感染経路:性的接触 2 例(異性間 1 例、異性間・同性間不明 1 例)、その他 1 例)、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例(感染性プリオン病(医源性))、後天性免疫不全症候群 11 例(無症候 6 例、AIDS 5 例)[感染経路:すべて性的接触(異性間 4 例、同性間 5 例、異性間・同性間不明 2 例) 感染地域:国内 10 例、国内/ブラジル 1 例]、ジアルジア症 1 例(感染地域:インド)、梅毒 1 例(早期顕症 II 期)、破傷風 1 例(80 代)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2 例(遺伝子型:VanA 1 例__菌検出検体:喀痰、VanC 1 例__菌検出検体:胆汁)

定点把握の対象となる 5 類感染症(週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は 2 週連続で増加した。都道府県別では愛媛県(4.9)、青森県(3.5)、新潟県(2.8)、秋田県(2.7)が多い。

小児科定点報告疾患:RS ウイルス感染症は 154 例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の 76%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は 2 週連続で増加し、過去 5 年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では鹿児島県(1.3)、福井県(1.3)、岐阜県(1.3)、島根県(1.1)が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は 3 週連続で増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では新潟県(6.3)、茨城県(5.3)、鳥取県(4.5)、石川県(4.4)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は微増し、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では宮崎県(13.6)、福井県(13.3)、石川県(13.2)が多い。水痘の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(5.4)、宮崎県(4.8)、佐賀県(4.1)、新潟県(4.1)が多い。手足口病の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では岐阜県(1.47)、徳島県(1.11)、愛知県(0.79)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福島県(1.9)、山形県(1.4)、青森県(1.2)が多い。百日咳の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(0.09)、千葉県(0.06)、福岡県(0.04)が多い。風しんの定点当たり報告数は増加した。都道府県別では鳥取県(0.16)、宮城県(0.02)、栃木県(0.02)、神奈川県(0.02)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別では鳥取県(2.42)、熊本県(1.04)、山口県(0.51)が多い。麻しんの定点当たり報告数は微増した。都道府県別では茨城県(0.09)、鳥取県(0.05)、宮城県(0.03)、富山県(0.03)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は第 14 週以降、減少が続いている。都道府県別では鹿児島県(4.2)、長野県(2.9)、鳥取県(2.7)が多い。

基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は横ばいであったが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では茨城県(1.5)、愛媛県(1.3)、群馬県(1.3)が多い。

全国 定点把握感染症 第17、18週 (2006.4.24 ~ 5.7)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点							
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん ²⁾	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 ³⁾	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 ⁴⁾	成人麻しん	
17週	愛媛県	4.9	.1	.9	1.6	6.1	2.6	.1	.2	1.1			.4	1.1	.1	2.1		.2	1.3			
	近畿県	香川県	2.4	.0	.8	.8	9.7	2.2	.2	.4	.3			.0		.7						
		徳島県	.4		.1	1.3	3.6	2.1	1.1		.5			.4		1.1		.5				
		高知県	.4		.3	.9	7.3	2.3	.0	.2	.2	.0		.2		.3		1.0		.6		
	全 国	1.0	.1	.5	2.2	6.7	2.2	.2	.5	.6	.0	.0	.2	.0	.8	.0	.8	.0	.0	.4	.0	.0
	北海道	2.6	.1	.5	3.6	5.6	1.6	.1	.0	.6			.0	.8		1.2						
	東北	1.9	.1	.3	2.6	7.4	1.8	.1	.9	.5	.0	.0	.1	.0	.1	.8			.2	.0		
	関東	.3	.0	.4	2.5	5.4	1.6	.1	.6	.5	.0	.0	.1	.0	.8	.0	1.0	.0	.0	.5	.0	
	甲信越北陸	1.7	.0	.5	4.1	9.9	2.8	.2	.3	.6			.2	.0	2.0	.0	.6			.6	.1	
	東海	.6	.0	.5	1.9	5.4	2.4	.7	.3	.6	.0	.0	.1		1.2		.4		.0	.4		
近畿	.8	.1	.7	1.5	6.6	2.0	.1	.2	.6	.0		.1		.8	.0	.5		.1	.4	.0		
中国四国	1.7	.1	.6	1.7	7.6	2.2	.2	.3	.6	.0	.0	.3	.0	1.4	.0	.9	.0	.0	.4	.0		
九州沖縄	.9	.1	.6	2.0	7.4	3.4	.1	.6	.8	.0		.3		1.7	.0	1.4	.0	.0	.2			

(2006.5.9集計)

18週	愛媛県	3.8	.0	1.2	1.0	4.5	2.4	.1	.1	.9			.5		1.1		2.0			.2		
	近畿県	香川県	1.1	.1	1.0	.8	6.7	2.1	.3	.5	.5			.1		1.5		.7				
		徳島県	.7		.1	.4	2.9	2.4	.6	.2	.4			.5		1.3						
		高知県	.1		.4	.5	6.0	2.8	.0		.4			.2		.5		.3			.3	
	全 国	.9	.0	.5	1.8	4.9	2.0	.2	.4	.5	.0	.0	.2	.0	1.3	.0	.8	.0	.0	.2		.0
	北海道	3.9	.1	.3	2.6	2.7	1.1	.0	.1	.3					1.4		.4					
	東北	1.6	.1	.2	1.7	4.9	1.8	.1	.6	.5	.0		.1	.0	1.1	.0	.8			.3		
	関東	.2	.0	.3	2.1	4.3	1.5	.1	.6	.5	.0	.0	.2	.0	1.0	.0	1.1	.0	.0	.2	.0	
	甲信越北陸	.9	.0	.6	2.9	7.3	2.6	.1	.3	.4			.1		2.0		.7	.0		.6		
	東海	.5	.0	.5	1.5	4.0	2.0	.6	.3	.5	.0	.0	.1	.0	1.1		.2	.0		.1		
近畿	.8	.0	.6	1.2	5.4	2.0	.1	.2	.4	.0	.0	.1	.0	1.1	.0	.5		.0	.3			
中国四国	1.4	.1	.5	1.2	5.4	2.0	.2	.3	.4	.0	.0	.4		1.5	.0	.9		.0	.2			
九州沖縄	1.0	.1	.6	1.4	5.4	2.9	.1	.4	.6	.0		.3		1.6	.1	1.3	.0	.0	.1			

(2006.5.11集計)

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。

全国 全数把握感染症 第17、18週 (2006.4.24 ~ 5.7)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																				
	疾病名	(2) コレラ	(3) 細菌性赤痢	(5) 腸チフス		(6) パラチフス	(1) 腸管出血性大腸菌感染症	(1) E型肝炎 (ウエストナイル熱を含む)	(2) ウエストナイル熱	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(8) Q熱	(11) コクシジオイデス症	(15) つつが虫病	(16) デング熱	(18) 日本紅斑熱	(19) 日本脳炎	(22) ブルセラ症	(23) 発しんチフス	(24) ボツリヌス症	(25) マラリア	(26) 野兔病	(27) ライム病	(29) レジオネラ症	(30) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢	(2) ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) ヤコブ病	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) 黄色ブドウ球菌感染症	(14) パンコマイシン耐性腸球菌感染症	
第17・18週報告数	全 国		12	6	1	45			12	1	1			8	1					1				7		16	3	3		2	3	18	2			9	2		6		
	四 国	愛 媛 県																																							
		香 川 県																																					1		
		徳 島 県					2																																		
		高 知 県																																							
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道							3	1																							1	1							
		東 北 道		1			3		3					3														1				1									
		関 東 圏		5	3	1	20		5		1					1					1				2		9	1	2		1	1	10	1			2	1		1	
		甲信越北陸		2	1		1							2																	1									1	
		東 海 道					2		1					1											2		3						1				2			1	
		近 畿 圏		4	2		5																			1		3	1			1		4			1			1	
中国四国						6							1												1							1	1			1					
九 州 沖 縄					8								1											1		1									3	1		2			
週 推 移	全 国			5	2	1	23		2				4	1										2		7	3			1		11	1			1	1		2		
				7	4		22		10	1	1		4							1					5		9		3		1	3	7	1		8	1		4		
			2	5	4	1	35		4																3		10	1			1		12	1		10	1		1		
			1	10	4	2	23	2	3				3	1						2					3		7	5		1	3	2	17	1	1	11	3		1		
2006年累積数	全 国	12	158	33	10	232	27	147	9	7			35	14			1		11					110		217	77	77	6	61	44	375	23	6		191	20		26		
	四 国	愛 媛 県		2			5		2				1														1	1	1		1		2								
		香 川 県																									2										4				
		徳 島 県					9																				3										2				
		高 知 県		1					1																		1		1			3				8					
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道					3	6	8	9				1											5		3	4	1		5	4	13	1			4				
		東 北 道		5			7	2	5	1			7							1				2		9	6	4		2	3	14		1		11			2		
		関 東 圏	6	71	23	9	61	6	36	3				4	6			1		7				35		92	22	29	5	23	16	201	9	4		46	8		9		
		甲信越北陸	2	12	3	1	13	3	5	1				3											9		4	6	6		5	4	18	5	1		8	1		2	
		東 海 道	1	12	2		27	3	22					2	4					1				22		30	11	7		4	6	39	1			24	1		3		
近 畿 圏			46	4		38	1	40	2				2	3					1				27		56	19	11	1	8	7	67	4			24	2		5			
中国四国		1	6			47	1	24					6						1					8		14	6	9		11	3	16	2			28	3		1		
九 州 沖 縄	2	6	1		36	5	7					11											2		9	3	10		3	1	7	1			46	5		4			

医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2006.5.11集計)